

近畿高体連サッカー部
公式記録

会場責任者 西村 広輔		主審サイン 黒川 健吾	
大会名	平成30年度 第71回近畿高等学校サッカー選手権大会<男子>	2回戦	⑫
試合日時	平成30年6月17日 (日) 10:00 キックオフ	競技時間	70分
観衆	500人	記録者	吉田 正勝 都 浩司

会場	J-GREEN堺 S5	天気	晴 曇 雨	強弱	強 弱 無	芝	状態	良好 不良 泥沼	審判	主審 黒川 健吾 氏 副審 A1 小久保 遼 氏 A2 今谷 康太 氏	第4の審判員 東原 壮志 氏
----	-------------	----	-------------	----	-------------	---	----	----------------	----	---	-------------------

【チーム名】	滝川第二高等学校 (兵庫県3位)	kick off	先	2	前半	0	後半	0	PK戦	【チーム名】	東山高等学校 (京都府1位)	kick off	先	0
--------	---------------------	----------	---	---	----	---	----	---	-----	--------	-------------------	----------	---	---

背番号																				
○ ×																				

交代時間	シュート(得点者は*印)				選手名	背番号	位置	背番号	選手名	学年	シュート(得点者は*印)				交代時間
	後半	前半	前半	後半							前半	後半			
70+4分					西垣 悠暉	12	GK	GK	1	荒木 光汰	3				
					古閑 虎太郎	2	DF	DF	2	木下 誠太	2				
40分					柏原 悠人	3	DF	DF	3	井上 竜稀	3				
			1		宮島 清次	7	DF	DF	4	飯田 敏基	3				
					向野 世音	9	DF	DF	5	見上 端紀	2				
					木村 日弥紀	19	DF	MF	7	宇賀神 拓世	3		2		
69分					青田 稜也	14	MF	MF	8	倉貫 直人	3				
70+1分			1		島 和暉	15	MF	FW	9	長坂 大陸	3			1	
63分				* 1	全 聖矢	20	MF	FW	10	久乘 聖亜	3			1	52分
				* 1	中森 翼	5	FW	FW	18	中山 翔	2	2			52分
交代選手	50分				赤瀬 来威	16	FW	FW	24	片岡 篤志	3				

交代選手	番	氏名	背番号	位置	交代選手	番	氏名	背番号	位置
12番	分				17番	分			
11番	分				13番	分			
3番	分				6番	分			
14番	分				16番	分			
20番	分				20番	分			
16番	分				23番	分			
15番	分				25番	分			
15番	分				11番	分			
15番	分				22番	分			

警・退	時間	番	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	警・退	時間	番	氏名	事由
	分				5			3	2	G K	1	1			2		分			
	分				2			0	2	C K	2	3			5		分			
	分				12			5	7	直接 FK	6	4			10		分			
	分				1			0	1	間接 FK	0	1			1		分			
	分				0			0	0	P K	0	0			0		分			

得点	時間	チーム	得点者	アシスト	得点経過	
					得点経過	得点経過
	8分	滝川第二	中森 翼		(右) CK③	〇 (中央) × こぼれ球 ⑤S
	32分	滝川第二	全 聖矢	赤瀬 来威	(右) ⑩	〜 (中央) ⑳ S
	分					
	分					
	分					
	分					
	分					

(略号例) ~ :ドリブル → :ゴロのパス 〇 :浮球のパス H :ヘディング HS :ヘディングシュート × :混戦 S :シュート
 オウンゴール こぼれ球 (中央) (右) (左) 直接FK 間接FK GK 右CK 左CK スローイン バー返り ポスト返り

戦評者氏名 (上 田 貴 典) 勤務先又は所属 (大阪府立 大正高等学校)

システムは滝川第二、東山ともに1-4-4-2で試合開始。序盤から互いの特徴を見せた立ち上がりとなる。滝川第二は両サイドに展開して起点を作り、縦に早い攻撃で主導権を握ろうとする。対する東山は、4バックからMF⑧倉貫を経由して丁寧にビルドアップをしながら攻撃を仕掛けていく。滝川第二はFW⑩赤瀬、MF⑭青田の推進力あるドリブル突破からチャンスは何度か作り、前半8分CKのこぼれ球をMF⑤中森が左足を豪快に振り抜き先制点を奪う。その後も右サイドからのクロスFW⑩赤瀬が押し込み2-0となり前半終了となる。

後半に入り東山は2トップの動き出しからボールを前線でキープするが効果的な崩しは見られなかった。終盤では東山はシステムを3トップにしてロングボールを主体として攻めるが滝川第二の集中したディフェンスラインを崩すまでには至らなかった。最後まで身体を張った守備で守り切った滝川第二の守備を称えたい。